

科目名 (科目番号)	臨床医学総論 (内科学・外科学) (112281)	教員名 篠田 俊雄	学科等	医療技術	必修	履修年次	3
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
			オフィスアワー		木3	B209研究室	
授業概要	内科学概論および外科学概論について学ぶ。すなわち内科学概論では内科学的疾患へのアプローチ（原因・疾病の症状と経過など）、症候と病態生理（肥満・呼吸困難・動悸など）、応急と救急処置（心停止・昏睡・出血など）などについて学ぶ。また外科学概論では外科学手術概論として外科学的侵襲に対する反応（水電解質反応・免疫反応など）、基本的手術手技（止血法・結紮・ドレナージなど）、移植（移植手術法・免疫抑制・拒絶反応的など）、創傷治療（創傷処置、上皮形成など）、消毒・滅菌（無菌法・術者・患者の消毒・手術器械や材料の滅菌など）などについて学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	はじめに	内科学と外科学の違いとそれぞれについてどのような専門領域があるか、最新の診療科を含めて理解する。				
	2	疾病の原因Ⅰ（内因性）	疾病の原因として、遺伝、体質、恒常性維持の破綻、免疫反応、腫瘍など内因性の原因について理解する。				
	3	疾病の原因Ⅱ（外因性）	疾病の原因として環境因子、生活習慣、心因反応などの外因性の原因について理解する。				
	4	疾病の症状	自覚症状、他覚所見、臨床検査の異常を理解する。				
	5	疾病の経過	病歴の聴取、病状の推移（急性・亜急性・慢性）、治療に対する反応（治癒、緩解、再発、無効）を理解する。				
	6	症候と病態生理	バイタルサイン、体形や皮膚・粘膜の変化、呼吸・循環系の症状、腹部症状、神経症状、精神症状およびその病態生理を理解する。				
	7	応急・救急処置	出血、脱水、熱傷、病原体や化学汚染、血圧低下、意識障害、心肺停止などに対する応急処置と救急処置を理解する。				
	8	外傷や外科的侵襲への生体反応	出血、止血・血液凝固、組織破壊・壊死、感染、組織および体液の防御反応、組織修復について理解する。				
	9	急性生体反応（ショック）	末梢循環障害が原因で生ずる急性生体反応の分類などについて理解する。				
	10	基本的な外科手技	止血法、身体固定法、結紮法、ドレナージなどについて理解する。				
	11	移植Ⅰ	現在行われている臓器や組織の移植医療の種類と問題点などについて理解する。				
	12	移植Ⅱ	自己移植、同系移植以外の臓器移植時に生ずる拒絶反応や免疫抑制法について理解する。				
	13	創傷治癒	創傷処置、創傷治癒、上皮形成について理解する。				
	14	消毒と滅菌	無菌法、術者と患者の消毒、医療器具や材料の滅菌法、医療装置と環境の消毒法を理解する。				
15	まとめ	内科的疾患へのアプローチと外科的侵襲による生体反応などをまとめる。					
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	臨床工学技士標準テキスト		小野哲章		金原出版		
参考図書	シンプル内科学 標準外科学		寺野 彰 島山勝義		南江堂 医学書院		
教員からのメッセージ	教科書で予習し、配布資料のポイントを中心に復習することにより学習効率が向上します。						